

医事紛争のしおり

これからの医療はどうか？

岡山県医師会理事 田中茂人

何やかやいいながらも現在の医療制度は存在し、それなりに機能を果たしてきています。しかし医療保険の適応が簡単に？次々とひろがっているのではないのか？我々の日常の診療には縁のない高額医療費が支払われているのでは、高価な新薬が競って開発され、その使用がどんどん認可されています。開業医の使う医療費は医療費全体から見ればほんのわずかですが、そのチェックは誠に厳しい。レセプトの審査とやらを少しは経験しましたが、診療費のほとんどは病院に回っています。高度な医療の恩恵に預かるのは良いが我々にはびっくりするような高価なレセプトが多そうです。医療者は最新の最高の医療を患者に施すのが当然ですが、そのコストについてはあまりに歯止めがなく自由？なのではないでしょうか？いつまで現在の制度が支えられるのかいらぬ？心配をしています。

考えれば私自身も何人もの先生方にお世話になり、現在もなお一人前の患者として名医の処方による服薬を続けています。つい最近に盲学校の校医を依頼されどんなことが出来るのか、少しでも役に立てばと願っています。そして及ばずながら医師会の為に微力ながら努力しております。

何時まで続くかわかりませんが同級の石川会長を支えていきたいと思えます。